

全国英語教育学会 平成25年度第2回理事会議事録

■日時 平成25年8月9日(金) 14:35～18:15

■場所 北星学園大学 第二研究棟 第一会議室（地下一階）

■出席者

卯城祐司(会長), 吉田信介(会長代行副会長), 萬谷隆一(副会長・北海道), 早瀬光秋(副会長・中部), 鈴木智己(理事兼幹事・北海道), 佐久間康之(理事・東北), 野呂徳治(理事・東北), 松沢伸二(理事・関甲信), 浅見道明(理事・関甲信), 紺渡弘幸(理事・中部), 村田純一(理事・関西), 横川博一(理事兼幹事・関西), 高橋俊章(理事・中国), 伊東治己(理事・四国), 那須恒夫(理事・四国), 大坪喜子(理事・九州)

<以下, オブザーバー>

金子淳(幹事・東北), 横田秀樹(幹事・中部), 猫田和明(幹事・中国), 山森直人(幹事・四国), 山川満夫(幹事・九州), 大井恭子(紀要編集委員長・関甲信), 佐藤臨太郎(紀要編集副委員長・中部), 猫田英伸(紀要編集副委員長・中国), 竹内典彦(北海道研究大会実行副委員長), 小野真嗣(北海道研究大会事務局長), 赤松信彦(会計監査・関西), 犬塚博彦(会計監査・東北), 板垣信哉(顧問), 廣森友人(事務局長), 前田啓朗(事務局), 田中洋也(事務局), 阿部真理子(事務局), 本田勝久(事務局), 浦野研(事務局), 泉恵美子(事務局), 清水遥(事務局)

議題に先立ち, 卯城会長より委員会運営について理事会と十分な議論ができなかった点についてお詫びがあった。委員会はいくまで会長や理事の下に置かれているものであり, 今後は必要に応じて委員会の審議内容を理事の方にもメールで流し, 意見をうかがう予定であること, 委員会の位置づけ, 構成・役割等に関する規則の整備も今後行う予定であることが述べられた。全国英語教育学会として今後どのような発展の在り方が考えられるか, 研究・実践の両面から議論していきたい旨のお願いがあった。続いて, 議題に沿って審議が行われた。

■議題

1) 事務局から総会に提起する議題について

- ・ 廣森事務局長より第1号議案～第7号議案について説明, ならびに赤松会計監査より第4号議案「平成24年度会計監査報告」について説明があり, それぞれ了承された。
- ・ 第1号議案「平成25年度役員」では, 理事の訂正（宮迫靖静先生→飯島睦美先生）が報告された。

- ・第7号議案「全国英語教育学会細則の一部改正」では、会則検討委員会（高橋先生、本田先生）より、会長選挙細則の改正過程に関する補足説明、さらに板垣顧問より現在の会長選挙細則が作成された経緯が説明された後、原案通り了承された。

2) 紀要ARELE 25号について

- ・大井紀要編集委員長より、ARELE25号編集計画、およびARELE在庫状況について説明があった。その際、ARELE 1号（学会に残部無し）をお持ちの方があれば、是非寄贈をお願いしたいとの依頼があった。また、学術奨励賞、教育奨励賞のタイトル訂正について報告があった。

3) 40周年記念誌について

- ・斉田記念誌編集委員長先生より、40周年記念誌について以下のような説明があった。
 - 依頼した原稿の95%は完成している（8月末原稿完成予定）。
 - 40周年記念誌の名称については「40回記念特別誌」とする。
 - 出版の可能性については、(1) 会員への無料配布との兼ね合い、(2) 400ページに渡るため、分冊になる可能性、(3) 出版化の過程でカットになる部分への対応（カットとなる部分の原稿を全国紀要に掲載するなど）、を総合的に検討した上で判断する。
- ・順調にいけば、来年度の四国大会までには完成予定。
- ・出版化をしない場合は、来年7月頃に会員に配布する。

4) 各委員会からの提案について

■ 全国大会委員会

- ・事務局の前田先生より、徳島研究大会におけるシンポジウム、ワークショップ案について説明があった。登壇者および司会進行の選出への協力依頼がなされた。また、研究大会開催における新ローテーション案について説明があり、意見交換が行われた。
 - 現在、全国大会は8年に1回のローテーションであるが、北海道地区は実質1県（札幌）で運営しており、負担が非常に大きい。
 - 会員数ベースでローテーションを考える前に、もっと他に検討すべき点はないか、負担が大きいのは北海道だけではないが、これまで何とかしてきた経緯があり、より効率的な運営方法を検討した方が良いのではないかなどといった意見が出された。
 - 会員数ベースで考えること自体に問題がある上、関東や関西と同じくらい大きい学会と中国地区のローテーションの頻度が同じある一方で、中国地区とほとんど同じ会員数の九州地区が12年間隔のローテーションであるなど、会員数ベースの案としても納得がいかないものであるという意見が出された。
 - 九州支部は新ローテーション案に基本的には賛成。四国支部は現行の8年に1回で問題ない。

- 新ローテーションを採用した場合、将来的に地区学会に与える影響について十分に見極める必要があるのではないか、負担軽減だけではないその他の影響があるのではないか、学会を開くことによって、その地域の教育研究活動が活性化される側面があるなどの意見が出された。

- 最終的にローテーション案を考える前段階の問題を大会運営に対する支援も含めて検討していく必要性が確認され、この件を継続審議とすることで了承された。

■ 研究企画委員会

・事務局の田中先生より、委員会で検討しているセミナー案について説明があった。具体的には、以下のような内容であった。

- 全国大会開催地区（県）においてセミナーを開催し、全国大会の認知度を高め、新規会員の掘り起しにつなげる。

- 具体的な日程としては、今年度に関しては2014年3月上旬～中旬にかけて徳島県内において、講演および地区のニーズに沿ったセミナーの開催を計画中。また、2014年度は全国大会前日および後日にセミナーの開催を計画中。

・予算面を考え、外部団体との共催の道を模索することが提案され、了承された。関連して、賛助会員にも積極的に参画してもらい、その中でタイアップするという意見も出された。

・課題研究フォーラムの成果がまとめられていないので、どのようにまとめていくかを今後、委員会内で検討してほしいとの要望が出された。

■ 財務委員会

・事務局の阿部先生より、財政健全化案および賛助会員制度の在り方について説明があり、意見交換がなされた。

・提案された案については十分に議論する必要があると判断したため、来年の徳島大会までは同大会予算に関わる適用は見送り、継続審議とすることで了承された。

・北海道地区の補助がなされていない理事1名分の理事会交通費を全国英語教育学会から補てんすべきか否かについて議論され、継続審議とすることで了承された。

■ 広報/通信委員会

・事務局の浦野先生より、ウェブサイト、ニューズレター、メールマガジン等に関する説明があった。仕組みを整備することは可能なので、今後、コンテンツに関しては各地区学会や他の委員会と連携を進めることが確認された。

・受信希望者による自主的な登録によるメーリングリストから運用を開始する旨が確認され、了承された。

■ 社会ニーズ委員会

・事務局の泉先生より、託児所の継続やその他の社会ニーズについて説明があった。

- 託児所については、学会からの補助なしの受益者負担を原則とし、可能な範囲で今後も継続することが確認された。

- 派遣申請を行いやすいシステム作りを今後進めていく。また、教員研修などに派遣可能な講師リストをHPに掲載することを検討中であることが報告された。

- 研究倫理（著作権や引用方法など）についての留意点を学会のワークショップの中で取り上げたり、ARELE投稿の際の注意点に含めてはどうかという提案があり、継続審議とすることです承された。

■ 学生/院生委員会

- ・事務局の清水先生より、大学生・大学院生フォーラムについて説明があった。
- ・今後の活動については、フォーラムにてアンケートを実施し、大学生、大学院生のニーズを検討していく予定であることが報告された。

5) 第40回徳島研究大会について

- ・伊東大会実行委員会委員長より説明があった。
- ・四国英語教育学会の資格で発表できる時間帯の設定については、四国英語教育学会の会員資格しか持たない会員に、全国英語教育学会の発表資格を与えるということは難しいのではないかといった意見が出された。このことに関しては、次回の理事会で継続審議とすることです承された。

6) 第40回徳島研究大会におけるシンポジウム及びワークショップについて

- ・事務局の前田先生より、徳島研究大会におけるシンポジウム及びワークショップ案について提案があった。

7) その他

1. 第39回北海道研究大会について（小野北海道研究大会事務局長より）

- ・予稿集の訂正（3箇所）と発表件数（208件）および事前参加登録件数（552件 [一般461名、学生91名]）について説明があった。

2. 教育再生実行委員会で提案された大学入試制度（英語）改革案について

- ・原案の通り、総会にかけることや、その後の周知方法などについて了承された。

3. 韓国小学校英語教育学会との提携について

- ・今回は提携を見送ることが確認された。

4. 2015年九州地区研究大会について（山川幹事より）

- ・8月22日、23日に熊本学園大学、あるいは熊本大学で調整中であるとの説明があった。

5. 言語系学会連合第3回意見交換会について

6. 次回理事会について

- ・3月1日、あるいは2日を候補として予定しているとの説明があった。

■配布資料:

資料 1 出席者名簿

資料 2 総会議題(案)

資料 3 全国英語教育学会紀要執筆要領 (ARELE 25 号) (案)

資料 4 全国英語教育学会各委員会からの提案について

資料 5 第 40 回徳島研究大会概要(案)について

資料 6 第 40 回徳島研究大会のシンポジウム及びワークショップ(案)について

資料 7 言語系学会連合第 3 回意見交換会議事録について